

崇城大生2人が立案

若い女性に広く球磨焼酎に親しんでもらおうと、熊本市の崇城大3年の白石美嘉さん(20)と古賀碧さん(21)が立案し、県産フルーツと掛け合わせたリキュール「こくりくま」が完成した。7日、インターネット販売が始まった。

球磨焼酎×県産フルーツ

若い女性向けリキュール

ネット販売開始



2人は同大公認の起業家育成部活動「起業部」所属。蔵元4社が製造するリキュールを、果実をイメージした球形のボトルに詰めた。味は晩白柚、梅などの4種。ネットで小口資金を集めるクラウドファンディングサイト「Makuake」で購入できる。2本セット(1本180^{ミリリットル})2800円から。50万円を売り上げ目標にして、利益を商品開発や販路拡大に充てる。

(前田淳)

若い女性向けの球磨焼酎リキュール「こくりくま」をプロデュースした白石美嘉さん(右)と古賀碧さん